



| Love 農! |

特集 | 愛媛でこんな作物、育っています



えひめ農業
希望のヒカリ

農	家
と	族
の	と
暮	紡
ら	ぐ
し	

すぐ代表になれるかも

平成26年、勤めていた会社を退職し、両親と兄が営んでいた農業を始めた光正さん。家族経営ということもあり、「すぐに経営者として代表になれるのでは」と当初は安易に考えていた。

就農一年目は鹿児島県の農業法人で研修を受け、その後は地元に戻り、父親をはじめJAなどで栽培技術や経営について学んだ。実家では果樹栽培と直販所向けの野菜栽培を主な柱とし、兄が果樹、光正さんが野菜という役割分担をして作業に取り組んできた。数年後には兄弟それぞれに経営が移譲さ

◀ 娘の咲来さん(10)、翼さん(7)と愛犬ジン(1)との1コマ



れ、ようやく「代表 寺尾光正」の誕生となった。

天候との闘い

直接消費者へ商品を届ける直販だからこそ、品質が良く新鮮な野菜を提供したいという思いが強くある光正さん。現在はコマツナを中心に葉菜類や根菜類の栽培に取り組む。

しかし、地域特有の「やまじ風」や近年の猛暑の影響により年々厳しさが増している栽培環境に苦戦。「コマツナは苗が発芽しても葉が丸まり黒く変色し、ほとんど育たずに植え替えを余儀なくされることもありました」と振り返る。

そのため、耐暑性に優れた品種への切り替えや、微量要素肥料、※BS（バイオステイミュラント）資材を積極的に活用し、安定した品質の確保と納得のいく商品づくりに励んでいる。

※BS（バイオステイミュラント）：生物刺激剤。ストレス耐性、成長力を促す有機化合物や微生物。



てら お みつ まさ
四国中央市土居町 寺尾 光正さん(38歳)
【経営規模】コマツナ50畝/サトイモ60畝/枝豆50畝/ニンジン30畝/ホウレンソウ30畝 他

経営と作業体制

栽培した作物は四国中央市内4カ所、新居浜市内6カ所の直販所へ出荷している。出荷先が多く距離もあるため、作業効率を重視した分業制を採用。作付け・管理・収穫は光正さんが担当し、選別・包装・運搬は妻と母親が支えている。

また、地元特産のサトイモも栽培し、共選へ出荷を行っているため、コマツナは年間5回転、サトイモは9月〜3月と、年間を通して絶え間なく農作業が続く。

日常の潤い

忙しい毎日の合間には、趣味である釣りに近場の海へ出かけることも。11月から年末にかけてハマチ釣りが盛んだったが、「僕は釣れなかったです」と苦笑いする。

2人の娘の父でもある光正さんは、年に一度の家族旅行を大切にしている。子どもたちが楽しめる場所と、自身が農業研修できそうな先をうまく組み合わせて目的地を決めていると言いつつ、「最近九州を訪れて満喫しました」と笑顔を見せる。

(右) 自宅の裏でバナナ栽培も▶

(左) 太鼓台が地域の町を練り歩く秋祭りにも楽しく参加している



フェイスブック、写真共有サイト(Instagram)で屋号である「天満の光」として発信中

あなたの味方 果樹共済



近年県内では、大干ばつ、越冬カメムシによる果実吸汁被害、夏秋期の高温による日焼け果や着色遅れなどの被害が続発しています。

果樹共済はこれらの自然災害に対して、令和7年1月から12月までに約3億円の共済金をお支払いしました。

気候変動等により、何十年に一度といわれるような災害が毎年日本のどこかで起きています。果樹共済は、共済掛金の2分の1を国が負担してくれる制度です。大きな災害があ

果樹共済の種類	収穫共済	果実の減収と品質の低下による損害を対象とする共済
	樹体共済	樹体の損害を対象とする共済 (キウイフルーツのみ)
対象樹種	うんしゅうみかん・なつみかん・いよかん・指定かんきつ(はっさく、ぼんかん、清見、日向夏、不知火、河内晩柑、ゆず、はるみ、せとか、愛媛果試第28号、甘平)・ぶどう・もも・びわ・かき・くり・キウイフルーツ	
対象となる災害	風水害・ひょう害・干害・寒害・雪害・その他気象上の原因(地震等)による災害・火災・病虫害・鳥獣害など	
申込期限	令和8年6月1日	

※詳しい制度内容は、お近くのNOSAIへお問い合わせください。

令和7年 共済金支払い状況

年産	樹種	支払	
		戸数(戸)	共済金(円)
6	うんしゅうみかん	350	145,826,190
7	なつみかん	10	1,030,134
6	いよかん	160	33,296,570
7	指定かんきつ	203	72,396,562
6・7	ぶどう	8	1,358,625
7	もも	1	39,100
7	びわ	1	7,800
6	かき	32	14,691,057
6	くり	45	2,920,810
6	キウイフルーツ(樹体含む)	107	27,904,201
合計		917	299,471,049

集計期間：令和7年1月から12月

「お知らせ」
被害が発生したら、NOSAIへご連絡ください。

適切な損害評価を実施するため、共済金支払いが見込まれる事故が発生したら、直ちに最寄りのNOSAIへご連絡ください。

つた時でも農業経営を継続できるように果樹共済への加入をぜひご検討ください。



全相殺方式に加入 なら安心です



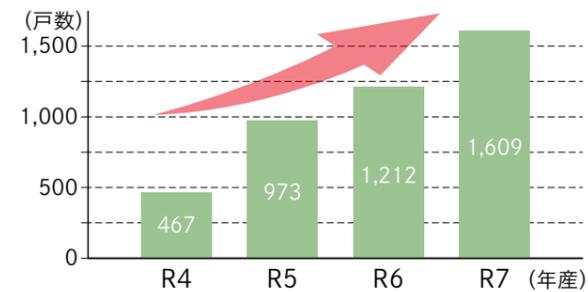
病気や気象による被害等は、見た目ほど収穫量がなく、乾燥調製した結果で気づきます。



全相殺方式とは

- 乾燥調製後の重量から減収量を算出する方式です。
- 補償が最大9割で、被害を受け粒張りが悪くなったり、小米による減収の場合も補償に反映されます！

全相殺方式に加入している農家数



加入者数も全相殺方式を開始してから年々増加しています。

3.5倍

ライスセンターや他の農家の方にもみすり作業を全量依頼している方、もしくは青色又は白色申告書で収穫量が把握できる方は

全相殺方式に加入しましょう！



〈加入申し込みについて〉

各市町の再生協議会から配布される営農計画書、もしくはNOSAIが配布する加入申込書に必要事項を記入の上、指定の期日までにご提出ください。詳しくは最寄りのNOSAIまでお問い合わせください。



漬物、おひたし、天ぷらに
葉ワサビ

県内では比較的珍しい「葉ワサビ」の栽培に20年以上前から取り組む両親の姿を間近で見ながら、自身も栽培を始めて9年目になる伊藤さん。栽培を始めた当初は少量出荷だったが、現在は全量契約栽培。2・7畝のハウスと1・5畝の露地を使い分け、年間を通して安定した出荷を行っている。

ハウスでは種から育て、露地では苗から育てるなど、気温差を考慮した管理が特徴。ワサビを溶かしてしまいう「リソクトニア菌」の発生、ヨトウムシやアブラムシなどの病害虫対策として土壌消毒を行い、被害を未然に防ぐ工夫も欠かせない。また、畝を立てた土に緑肥を混ぜて柔らかくし、連作障害を防止している。



西条市 アグフィールド(株)
伊藤 大起さん(32歳)

▶「14畝の水稲栽培との両立に奮闘しています」



鎌で根元を切り落として収穫

▶鼻に抜けるようなピリツとした辛みと香りが特徴



まるでフルーツ
食用 **ホオズキ**

▶「ホオズキを栽培すると手がすべすべになります」



鬼北町 田中 明美さん(71歳)



糖度14度程度の甘さがあり、動物が茎を残して全部食べってしまうほど

▶「食べる宝石」との呼び名も

マンゴーとミカンを足したような甘酸っぱい味わいが楽しめる、食用ホオズキ「鬼あかり」。プチトマトのような食感で、老化を防ぐとされている「イノシトール」や「ビタミン類」を多く含み、栄養価も高い。

田中さんが鬼北町農業公社と共同栽培する約8坪のハウスには、210本ほどの苗を定植しており、2月下旬〜5月上旬の収穫を終えると、毎年新しい苗に植え替える。実を大きく育てるため、一枝に残す実は3〜4個まで。水やりもチューブで細かく管理している。



見た目はキャベツ 実はレタスの仲間
ラディッキオ

令和4年3月、大洲市で試験的に栽培がスタートした「ラディッキオ」。その頃ちょうど藤田さんが本格的に農業の規模を広げて取り組みはじめたこともあり、当初からラディッキオの生産に力を入れてきた。主に愛媛たいき農協へ出荷し、規格外品については産直市「愛たい菜」で販売している。

ラディッキオの魅力は、色の鮮やかさと料理のアクセントとなる苦味にある。「嫌な苦味ではなく、サラダに加えることで味が深み生まれ、食卓を華やかに彩ってくれます」と話す。肉料理やベーコンと合わせるほか、奈良漬けやマヨネーズと和えるなど、大人向けのおつまみとしても親しまれている。



大洲市 藤田 祥広さん(32歳)

▶「日々の食卓に身近な存在になることを期待しています」



結球までの期間は約70日から100日以上までと品種によって幅がある

▶春作はトンネルで加温しながら育て収穫する

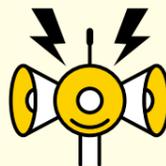
愛媛でこんな作物、育っています



県内ではまだ栽培例が少ない、農作物を紹介します。気候や土壌に対して工夫を重ねながら、地域の新たな可能性を広げる取り組みです。農業のさらなる魅力をぜひ知ってください。

身近な災害リスクに

備える



このように農業経営を脅かす自然災害等の様々なリスク。「自ら備える」という意識を高めることが重要です。

農業版BCP策定準備

このような自然災害等の多発によって、農業への被害も増加傾向にあります。こうした中、自然災害等への備えに取り組みやすいものとなるよう農林水産省が「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」及び「農業版BCP(事業継続計画)」を作成しています。BCP(事業継続計画)とは、自然災害や感染症、大事故が発生した場合においても、中核となる事業を継続させたり、可能な限り短時間で事業を復旧させたりするための方法、手法などをあらかじめ取り決めておく計画のことです。



「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP」



台風

近年、台風が強い勢力を保ったまま上陸し、観測史上1位となる最大瞬間風速や降水量などが各地で記録されています。



竜巻

竜巻は、平均的に毎年約16件の発生が確認されています。
※2014年～2024年の平均、海上竜巻を除く。

また、前線や台風の影響及び大気の状態が不安定になりやすいことなどにより、7月から11月にかけて多くなります。



大雪

近年、平年の2倍を超える積雪や短時間に降り積もる大雪が発生しています。



地震

最大震度7を観測した令和6年能登半島地震をはじめ、日向灘熊本地方、青森県東方沖や島根県東部等各地で震度5強を超える地震が毎年のように発生しています。



大雨

大雨や短時間豪雨の発生回数が増加しています。土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生に つながるような猛烈な雨が降ることも少なくありません。



その他の自然災害

落雷や降雪は発生しやすい時期や地域に偏りがありますが、園芸施設共済に加入している農業用ハウスは、令和6年に全国で落雷による被害が832棟、降雪による被害が892棟発生しています。

園芸施設共済への加入準備

園芸施設共済は、農家の約80%が加入しています。国が掛金の半分を補助しているので、掛金の負担が軽減されています。(特約を除く) また、以前と比べて制度を大幅に拡充させているので、加入されていない方はもちろん、すでに加入されている方も、この機会にぜひ、お近くのNOSAまでお問い合わせください。

農業共済新聞

四国版

ドローンで施肥や空散

沖野 順一さん 愛媛県大洲市



「米・食味鑑定士」や「お米ソムリエ」の資格を持つ沖野さん。「視覚化された分布図を基に質を高めている」と話す

【愛媛支局】大洲市の沖野順一さん38は、スマート農業による作業の省力化に取り組む。世界中の空撮情報を人工知能(AI)が診断し、圃場の地力を可視化する栽培管理支援システム「ザルピオ」を主に水稲作に活用。2024年12月に新小型に短縮した。沖野さんは

農薬散布の時間が約4分の1に

「薬の量、高さ、幅を設定すれば全自動で均等に散布してくれるので、手作業とは疲れ方が全く異なる」と話す。トラクターには高精度測位を実現するRTK(リアルタイムキネマティック)方式を導入。誤差は2センチで、自動操縦で旋回もできる。さらに、ドローンの飛行にRTKを活用することで、より正確な高所施肥が可能だ。圃場の生育状況を記録・分析することで、刈り取り適期を容易に把握でき、一気を使う作業の負担も減った」といふ。

効率化や労働改善で

もっと魅力的に



一般企業参考就業規則 株はくみ農園 高知県安芸市

社内クラブで離職防止

株情熱カンパニー 徳島県阿南市



得意分野見つけ業務に生かす

得意分野見つけ業務に生かす

お試し読み無料 キャンペーン実施中

農業共済新聞を2カ月無料で試し読みしてみませんか。お申し込みは、お近くのNOSAで随時受け付けています。
○毎週水曜日(月4回)発行
○年間購読料5,520円



食事代など半額

イチゴハウスで本誌代表。契約は「ボス」(写真=本人提供)



農業は3K(きつい、汚い、危険)のイメージを持たれてきた。しかし、生産現場では、

技術導入による作業の効率化や、他産業並みの労働環境の整備など従来のイメージを払拭する取り組みも展開されている。今回は働きやすさを重し、労働環境の改善に取り組む農業者に話を聞いた。

訪問集金 廃止のお知らせ

令和8年4月1日より安全で確実な納入手続きを行うため、職員による訪問集金を廃止します。

現在、現金でお支払いの方は、早めに口座振替への移行をお願いします。口座振替は、所定の「口座振替依頼書」の提出によりご利用いただけます。

やむを得ず口座振替ができない場合は、組合窓口での納入のほか、JAやゆうちょ等の金融機関、コンビニでの払い込みも可能です(来所が難しい場合に限りです)。

収入保険ご加入者様

LINEはじめました。主に収入保険についてのお知らせや情報、広報紙などを掲載していく予定です。「友だち追加」をお願いします。

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@27278miour



Q? ひめのわクイズ

ひめのわ44号を読んで答えをご応募ください。

Q1 令和8年の果樹共済の申込期限はいつ?

◎5月10日 ◎5月20日 ◎6月1日

Q2 8ページで紹介している事業継続計画のことをアルファベットで何という?

◎BCP ◎GDP ◎PDC

Q3 表紙を飾る森夫妻のお子さんは何人?

◎3人 ◎4人 ◎5人

応募資格はNOSAIえひめの組合員のみです。また当選者はひめのわ46号で市町・氏名を公表させていただきます。ご了承ください。

みんなのひめのわ広場

写真館

大好きなイチゴとピカチュウに囲まれて元気いっぱいな乙都。将来の夢は「パティンエさん!」と笑顔で話してくれたね。大きくなって夢を叶えられるように、そばで見守っているよ。乙都が心を込めて作るケーキを家族みんなで食べられる日が楽しみだな。
(父・母より)

島原 乙都ちゃん(5)



今治市

いよ キラ

息子と二人で施設キュウリや露地野菜などを栽培しています。農業は毎日休みがなく大変な仕事ですが、手間をかけた分だけ良いものが作れると、やりがいを感じます。将来は息子夫婦が後を継いでくれたらうれしいですね。

三好 広子さん(56)



松野町

ホオズキ 鬼北町産の果実を使った『鬼灯ジャム』と『ブルーベリージャム』のセットをプレゼントします!

(写真はイメージです)

【応募方法】

ハガキまたはEメールに必要事項をご記入の上、ご応募ください。

- クイズの答え ●〒ご住所
- お名前(フリガナ) ●年齢 ●電話番号
- 広報紙「ひめのわ」へのご意見・感想をお書きください。

【応募締め切り】

令和8年4月30日(木)(消印or受信有効)

〈ハガキの場合〉

切手 790-0002
NOSAIえひめ
ひめのわクイズ係
松山市一番町四丁目
四二

〈Eメールの場合〉

kouhou@e-nosai.or.jp
件名に「ひめのわクイズ応募」とお書きください。

※ハガキの場合は切手を貼ってご応募ください。※いただいたご意見・感想を「読者の声」にて匿名でご紹介させていただく場合があります。
※応募によって得られた個人情報は、当選者発表及びプレゼントの発送、広報紙作成の参考意見とする以外の目的では使用いたしません。

こんにちは
NOSAI
職員

伊予出張所
光田 海斗
(平成30年入組)

です。



皆さんにNOSAI職員の仕事を知ってもらうために今回は光田君にインタビューしてみました。

1 Day Schedule



- 8:30 業務開始
果樹共済(かき)の事務処理
- 10:30 果樹共済(かき)の被害確認準備
- 12:00 昼食・昼休憩
- 13:00 果樹共済(かき)の被害確認
- 15:00 被害写真整理、書類整理
- 17:00 業務終了



かきの被害写真の整理や共済金の計算を行う光田君

○ 私、こんな仕事しています。

果樹共済と収入保険を担当しており、被害調査やとりまとめ作業を行っています。担当地区は内子町大瀬地区で、保険加入の手続きや損害評価を行っています。

○ この仕事を選んだ理由

実家が農業を営んでいて、学生の頃から農業に関わる仕事に興味がありました。高校卒業後は農業大学校に進学し、在学中に北海道研修や農家宿泊研修などに参加しました。農業の大変さや苦勞を体験したことで農家の方々のサポートをしたいと思い、NOSAIを志望しました。

○ NOSAIえひめのココが好き

実際に被害が発生し、共済金をお支払いした時に農家さんから「加入していてよかった」「ありがとう」と声をかけていただくと、役に立てたのかなとうれしく思います。これからも農家さんの『支え』になれるよう仕事に取り組み、頑張りたいです。

○ 私のプライベート(オフの過ごし方)

温泉が好きなのでよく足を運びます。大浴場やサウナに入ると解放感もあり心も落ち着きます。運動することや食べることも好きなので、休日は体を動かしたり、おいしいごはん屋さんを探して楽しんでいます。

○ 就活生へメッセージ

どの職場でも、どの仕事をしていても大変なことはたくさんあります。農業に興味があり、少しでも人の支えになりたいと思うことがあれば挑戦してほしいです。

※令和9年度、職員採用試験を実施予定です。

詳細は改めて「ひめのわ」及びホームページに掲載します。



発行/
愛媛県農業共済組合
http://www.e-nosai.or.jp

HPのアクセスは
こちらから



本 所

〒790-0002
松山市二番町4丁目4番地2
TEL (089) 941-8135
FAX (089) 941-8178

東 予 支 所

西条市下島山甲1324番地2
TEL (0897) 55-2955

今 治 出 張 所

今治市別宮町9丁目1番53号
TEL (0898) 31-2800

中 予 支 所

松山市立花1丁目8番42号
TEL (089) 941-4623

伊 予 出 張 所

伊予市米湊825番地9
TEL (089) 982-0534

南 予 支 所

西予市宇和町ひまわり1番地4
TEL (0894) 62-2123

愛 南 出 張 所

南宇和郡愛南町城辺甲283番地第1
TEL (0895) 72-0201

〈家畜診療所〉

東予家畜診療所

西条市大野379番地1
TEL (0898) 66-0631

南予家畜診療所

西予市野村町阿下6号247番地
TEL (0894) 72-0040

大 洲 駐 在 所

大洲市東大洲255番地
TEL (0893) 24-5158

旬の野菜を使用した前菜盛合せ、自家製パン、地元食材で多く構成されているパスタランチ。メニューは週ごとに変わるため、行くたびに折々の食材を使ったランチが楽しめる。

西予市産 旬の食材の数々



地元の味をギュツと!
iyomeshi
イヨメシ

パスタランチ …… 1,500円(税込)

別途 コーヒー 400円
コーヒー+デザートセット 700円
※デザートは要予約

Spot No. **40** **MATERIALE DA QUI.** (イタリア語。日本語訳で「素材・ここから」といった意味)



店名には、「ここから生まれる。スタートする」といった思いが込められている。「その土地で生まれた食材のおいしさを知ってほしい」と西予市産の食材を主役としたメニューを展開。ランチは土日祝のみで、ディナーをメインにコース料理を提供しており、地元の食材をふんだんに使用した料理はどれも魅力的で、落ち着いた時間が過ごせる。



西予市宇和町卯之町4丁目447 TEL 0894-62-7791 ⑧火曜
⑨pranzo(ランチ) 11:30~14:00 ※土日祝のみ/cena(ディナー) 17:30~ ※23:30(ラストオーダー)

みやべ けんいち
店主 宮部 賢一さん



第45号は
7月に発刊予定です。



〈写真〉涼平さん、慶姫さん、陽太くん(5)、
絆奈ちゃん(3)、心月ちゃん(1)

松山市八反地の森涼平さん(34)と
崔慶姫さん(39) 夫妻は令和7年に両親と経営を一本化し、いよかん139㌔をはじめ、9種類のかんきつと蜂蜜を約2畝の園地で栽培している。
就農6年目を迎え、オンラインショップやSNS(交流サイト)を活用した販売にも力を入れ、六次産業化を推進。子育てとの両立に奮闘しながらも、「試行錯誤し、工夫を重ねていく過程が楽しい」と明るい表情で語る。
今後はいよかんを中心に規模を拡大し、作付面積を3畝に広げることを見据えながら「将来は子どもたちに受け継いでもらいたい」と期待する。



表紙の紹介